

後発医薬品(ジェネリック医薬品)に関するアンケート結果

令和2年12月
岡山県保健福祉部医薬安全課

調査の概要

1. 調査の目的
岡山県における若年層(0~19歳)の後発医薬品使用率が低いことが課題の1つであり、要因を把握するため、若年層に対するアンケート調査を実施した。
2. 調査期間
令和2年10月12日から10月31日まで
3. 調査対象
薬局 805施設(県内全数調査)を訪れた訪問患者
 - ・15歳~19歳の患者本人 1,610名 各薬局2名
 - ・0歳~19歳の患者保護者 1,610名 各薬局2名

調査の概要

4. 調査方法 質問紙調査

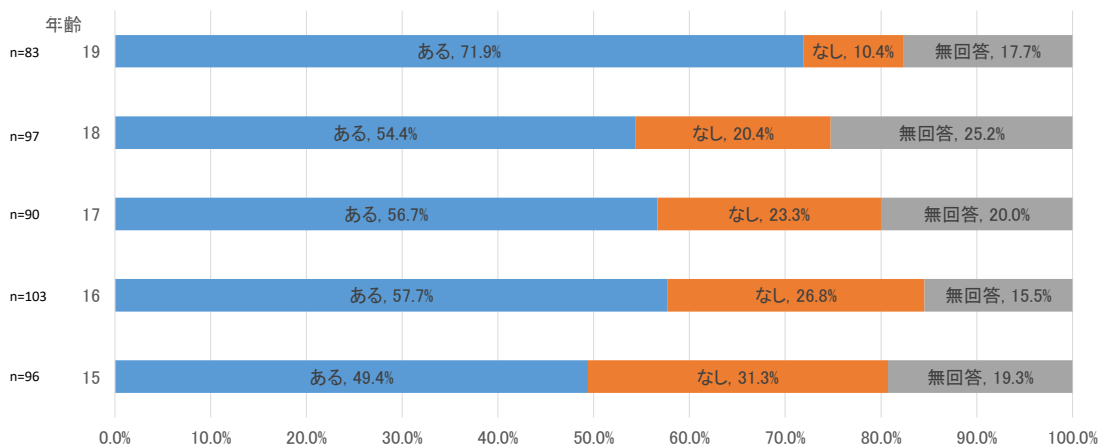
5. 回答の状況

	対象数	回答数	回答率
訪問患者本人(15歳～19歳)	1,610	469	29%
訪問患者保護者(患者0歳～19歳)	1,610	828	51%

回答結果(患者本人)

・年齢別薬代の自己負担について(全体n=469)

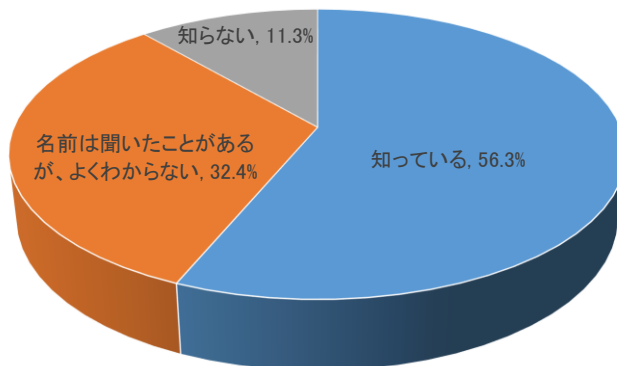
自己負担がある割合が年齢問わず約半数以上を占めている一方で、無回答での割合も約20%あった。



回答結果(患者本人)

・ジェネリック医薬品について

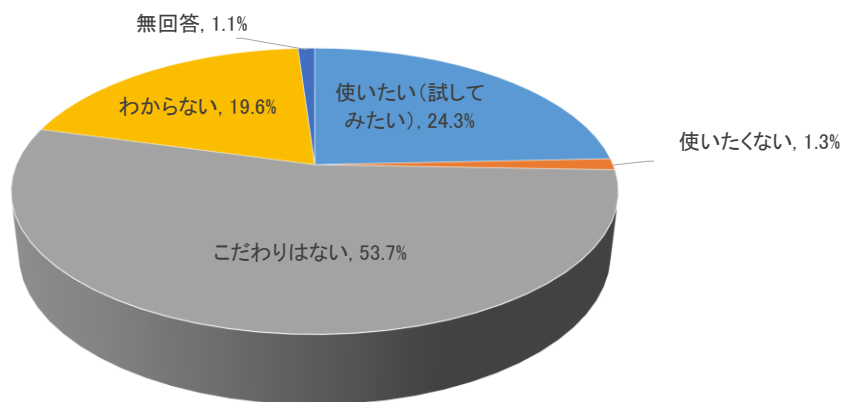
「知らない」割合が約11%、「名前は聞いたことがあるが、よくわからない」割合も約33%を占めており、若年層にあまり認知されていない結果となった。



回答結果(患者本人)

・ジェネリック医薬品を使うことについて

「こだわりはない」割合が約54%であり、「使いたくない」割合は約1%であった。



回答結果(患者本人)

・ジェネリック医薬品を使いたくない理由 (全体 n=7) ※複数選択可

	理 由	
1	ジェネリック医薬品を使用したことがあるが、よくなかったから	1
2	現在使っている先発医薬品に慣れているから	2
3	ジェネリック医薬品に変更するきっかけがないから	1
4	薬代が無料だから、もしくは、先発医薬品を選んでも薬代がほとんど変わらないから	0
5	ジェネリック医薬品の効き目や品質、副作用などが不安だから	2
6	その他	1

6 その他 (具体的に) ・母が医院勤めだから。

回答結果(患者本人)

・安心してジェネリック医薬品を使うために効果的である方法 ※複数選択可 (全体 n=469)

	理 由	回答数	割合
1	医師・歯科医師・薬剤師が患者に、ジェネリック医薬品を勧める。	320	45.6%
2	学校、幼稚園・保育園、健康診断などでパンフレット等を配布する。	172	24.5%
3	インターネットなどで広告を行う。	140	19.9%
4	ジェネリック医薬品の製造工場の見学会を行う。	54	7.7%
5	その他	10	1.4%
6	無回答	6	0.9%

回答結果(患者本人)

- ・安心してジェネリック医薬品を使うために効果的である方法 ※複数選択可
(全体 n=469)

	理由
5	<p>その他(具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この質問ってジェネリック医薬品が安全でないと言ってるんですか？ ・費用の負担がない人は原則としてジェネリックを使用」するように整備する。 ・薬についてよく知る人が少ないため、どのようなものかをポスター、パンフレット、インターネットなどにかきこむ。 ・どうしてジェネリック医薬品を使用した方がいいのかももう少しPRすべき。 ・学校の保健の授業で取り上げる。 ・広報の内容をわかりやすくしてほしい。 ・インターネット以外のメディアを活用して広告する。 ・薬剤の違い、成分などが分かり易く示してあるようなパンフレット等があると効果的だと思います。

回答結果(患者本人)

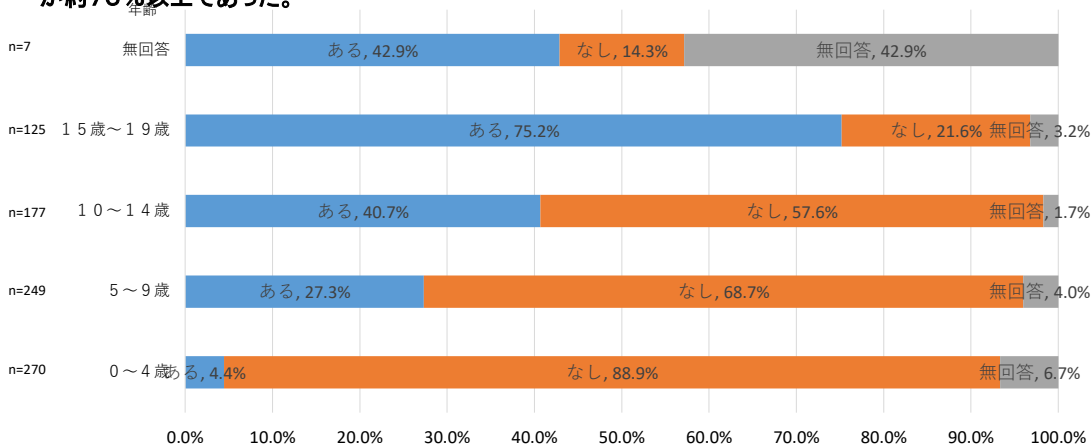
- ・安心してジェネリック医薬品を使うために効果的である方法 ※複数選択可
(全体 n=469)

	理由
5	<p>その他(具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その前に無駄な医療行為をやめる方が先。 ・国が言わないとだめだと思う。僕たちの時の医療費はどうなるのか、ジェネリックで十分いい薬と国がもっと言ってほしい。若い人のためにも。 ・危険性がないこと。本当に。

回答結果(保護者)

・年齢別薬代の自己負担について (全体n=828)

自己負担がない割合が10歳未満では約65%以上を占めている一方で、15歳以上では自己負担がある割合が約75%以上であった。

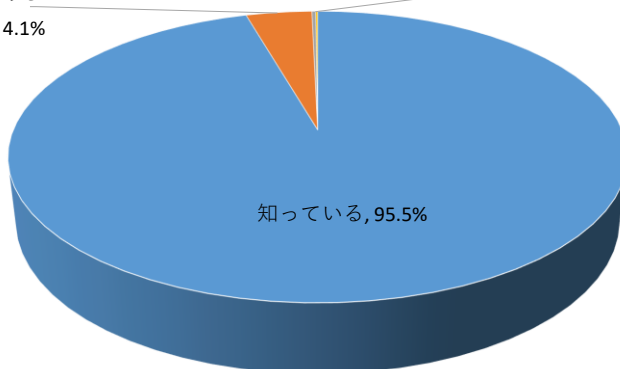


回答結果(保護者)

・ジェネリック医薬品について

「知っている」割合が約95%、「名前は聞いたことがあるが、よくわからない」割合も約4%を占めており、認知度は高い結果となった。

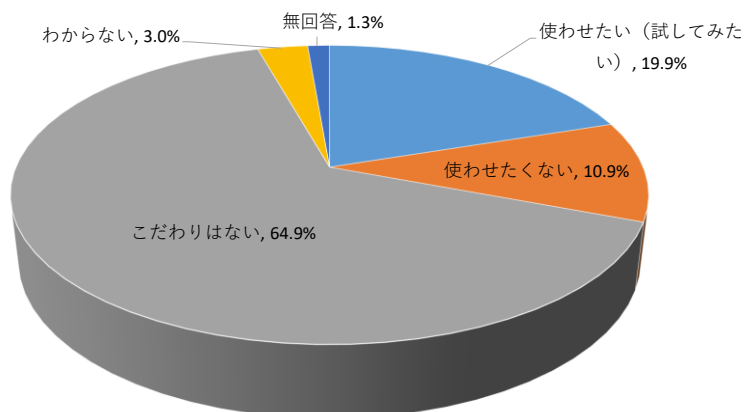
知っている, 95.5%
名前は聞いたことがあるが、よくわからない, 4.1%
知らない, 0.2%
無回答, 0.1%



回答結果(保護者)

・ジェネリック医薬品を使うことについて

「こだわりはない」割合が約65%であり、「使わせたくない」割合は約11%であった。



回答結果(保護者)

・ジェネリック医薬品を使わせたくない理由 (全体 n=90) ※複数選択可

	理 由	
1	ジェネリック医薬品を使用したことがあるが、よくなかったから	15
2	現在使っている先発医薬品に子どもが慣れているから	26
3	ジェネリック医薬品に変更するきっかけがないから	3
4	薬代が無料だから、もしくは、先発医薬品を選んでも薬代がほとんど変わらないから	36
5	ジェネリック医薬品の効き目や品質、副作用などが不安だから	37
6	その他	13

回答結果(保護者)

・ジェネリック医薬品を使わせたくない理由 (全体 n=90) ※複数選択可

	理 由
6	その他 (具体的に)
	・ 知人の医療関係者がジェネリックは似て非なる物と言っていたので。
	・ A G は可。
	・ 母親の私にジェネリックで湿疹がでたため。
	・ 某病院でジェネリックは効果が半減すると言われた。
	・ 抗生物質やジェネリック医薬品が出たばかりの物、テープ剤など見た目があきらかに変わると不安になるので。
	・ 名前がかわるとわかりにくいから。
	・ 飲みやすいジェネリックがあればそちらを使用することもある。
	・ 安いので成分の質が気になる。
	・ 味が変わったりする。
	・ 薬剤師さんから説明をうけて、まぜても良いものが先発だったから。
	・ 品名をおぼえておきたい。
	・ 外用はジェネリックではない方がいいから。

回答結果(保護者)

・安心してジェネリック医薬品を使うために効果的である方法 (全体 n=828) ※複数選択可

	理 由	回答数	割合
1	医師・歯科医師・薬剤師が患者に、ジェネリック医薬品を勧める。	621	48.4%
2	学校、幼稚園・保育園、健康診断などでパンフレット等を配布する。	340	26.5%
3	インターネットなどで広告を行う。	137	10.7%
4	ジェネリック医薬品の製造工場の見学会を行う。	121	9.4%
5	その他	45	3.5%
6	無回答	20	1.6%

回答結果(保護者)

- ・安心してジェネリック医薬品を使うために効果的である方法 ※複数選択可
(全体 n=828)

	理由
5	その他(具体的に)
	・医師がジェネリックに不信感を持っているように感じるのをそれを払拭して欲しいです。
	・負担金をジェネリック無料、先発品有料にすればよい。
	・親世代の知識を深める活動が必要なので、学校や園での活動よりは、保健所(集団検診)で啓発するとよいと思います。
	・負担金が発生したら考えます。医師が処方せんにジェネリックで書いていけばそれでいい。
	・何がちがうか、効果に変わらないことを伝えた上で安くなったらどういいのかを説明する。子供は自己負担ないのでジェネリックじゃなくても・・・って思いがちなので。
	・自分でジェネリックも使用してみて決めます。
	・オーソライズドジェネリックは特に安心してつかえると思います。
	・テレビCM

回答結果(保護者)

- ・安心してジェネリック医薬品を使うために効果的である方法 ※複数選択可
(全体 n=828)

	理由
5	その他(具体的に)
	・医療費削減によりその分国民に対してのどんなこと、何に役立つことになるのかPR。実例をあげて、岡山の教育、福祉に使われるのなら、前向きに考えられる。(生活保護には前向きにはならない)
	・医師がジェネリック医薬品の指定で対応しないことには、なんともならないと思う。変更不可で処方されているので変えたくても変えられない。困る。
	・安心して使えるとメディアとかを使ってみるとよいのでは。
	・先発の薬と全く変わらない安全性があってそれを(紙面などでも)薬剤師さまより説明があったら。
	・添加物の不透明さ
	・効果に差がない事を周知すると安心して使えます。
	・効果がどれくらいなのかかすりの箱に書くなどする
	・詳しく説明してほしい
	・ジェネリックはどうして安いのか?そのわけを知りたい。先発医薬品とくらべてどのくらい副作用が違うのか?

回答結果(保護者)

- ・安心してジェネリック医薬品を使うために効果的である方法 ※複数選択可
(全体 n=828)

	理由
5	その他(具体的に)
	・品質検査もしっかりしていることを分かりやすく示してほしい。
	・かわらない品質のものにしてもらう。一度よくないことがあると特に子どもには使いたくなくなる。
	・のみやすくする。
	・医師、薬剤師が家族とともに使いそれを(使っていますと窓口で)伝えるなど。
	・テレビでとりあげてもらう。
	・親子サークルなどでお薬のお話会をする。(認知度を上げる。)
	・先発がいいので。
	・後発品でも信頼できるという広報。
	・薬をごくたまに使うだけの人ほどどちらも良いが、薬を常用する人(薬を沢山使用する人)にジェネリックを上記の方法で勧めれば良いと思う。(とりあえず対象をしぼって)
	・先発品との違い(細かい事まで)のひかく表示、添加物等。

回答結果(保護者)

- ・安心してジェネリック医薬品を使うために効果的である方法 ※複数選択可
(全体 n=828)

	理由
5	その他(具体的に)
	・同じ成分なのは理解しているが物によっては効き目が良くない物もありためしてみないとわからないが一度は試している。
	・ジェネリックを処方したくない医師もまだまだいるようなので、そこから変えないといけないのではないのでしょうか。
	・医師、薬剤師からわかりやすく安心な説明が頂きたい。
	・何が違って何が同じで等教えてもらえるとありがたい。
	・自分はジェネリックでもいいのですが、子供に使うのは悩む時があるので新薬とジェネリックのちがいをわかりやすく説明してもらえると安心して使えるかも。
	・薬局でくわしいパンフレットを配布する
	・市民が利用する交通機関や駅ポスターなど
	・薬価と自己負担額を提示して明確に説明する。
	・ジェネリックの種類が多すぎるので信用できるメーカーを限定して欲しい。

回答結果(保護者)

- ・安心してジェネリック医薬品を使うために効果的である方法 ※複数選択可
(全体 n=828)

	理由
5	その他(具体的に)
	・先発品と何がちがって何が同じなのか、副作用はあるのかを数値で出す。
	・年配の方など「よく分からないのでイヤ」という方もいる。もっとテレビや新聞でも宣伝するとよいと思う。
	・全くこだわりがないので自動的にジェネリックを処方されていても問題なし。
	・TVなどで、ジェネリックのことをCMなどで言う。なぜ、ジェネリックをすすめるのかなど。
	・品質が良ければ(同じであれば)不安はなくなると思います。
	・少し違いがあることを正確に情報公開すべきだと思う。
	・生保のように原則公費負担の方はジェネリックを使ってくださいという通知を出せばいいと思う。